

- 228) 新家 勝(2001) ハマオモトヨトウ稲美町で採
集される きべりはむし29(2):52
229) 山口福男(2001) 諏訪山公園でアサマキシタ
バを採集 きべりはむし29(2):52
230) 高島 昭(2001) 安富町でオキナワルリチラシ
きべりはむし29(2):56
231) 高島 昭(2001) 淡路景観園芸学校(北淡町)で
マイコトラガ きべりはむし29(2):56
232) 金子岳夫(2001) ウスゴマダラエダシヤクを
兵庫県浜坂町で採集 誘蛾燈166:114
233) 内海功一(1984) 昆虫館だより⑦
てんとうむし9:49
234) 藤富正昭(2002) 「淡路花博」における害虫進
入警戒調査に関わって PARNASSIUS 50:6-8
235) 藤平 明(2002) 淡路島南部の蛾(1999)の訂正
と追加 PARNASSIUS 50:11-13

----- * ----- * ----- * -----
現在のところ、ここに掲げた233編の文献を参照
することができる。なお、174番、188番は欠番と
なっている。また、この他に兵庫県立人と自然の博
物館の収蔵標本の調査を行い機会を得て、かなりの
標本をチェックしている。本来であれば「収蔵標本
目録」や「博物館紀要」等で発表されたものを参照す
ることになるのであるが、系統分類部の中西明德氏、
八木剛氏らの格別のご好意により発表の機会を与え
ていただいている。この場を借りて厚くお礼を申し
上げる次第である。また、多くの方々に標本の閲覧
をさせていただいたり、未発表記録の提供をいただ
いている。いちいちご芳名は記さないが、あわせて
厚くお礼申し上げます。

(TAKASHIMA AKIRA 姫路市書写2542-2)

兵庫県からの キバナガミズギワゴミムシの記録 稲畑 憲昭

筆者は揖保川と千種川でキバナガミズギワゴミムシ *Armatocillenus yokohamae* (Bates) を採集した。兵庫県からの文献記録は、筆者の不勉強にて見つからなかったもので、一応記録する次第である。

108exs., 6.IV.2001, 兵庫県赤穂市千種川

河口より5kmほど上流の干潮帯の石起こしで採集した。干潮時に現われた川底は礫が多く個体数は非常に多かった。時間の都合により30分ほどしか採集できなかった。本種は、鞘羽に黄色紋が一对出るのが、無紋のものから紋が発達したもので変異が見られた。なお、本種以外の甲虫はほとんどいなかった。

2exs., 10.IV.2001, 兵庫県姫路市揖保川

河口の干潮帯の石起こしで採集した。

揖保川は河口からおよそ2kmから上流には堰がいくつみられ、これより上流では汽水性の地表性甲虫はいないと思われる。揖保川のは2個体のみであるが、無紋・紋縮小タイプは認められなかった。同属のキバナキバナガミズギワゴミムシはより少ない種であるが、筆者は岡山市で採集している。兵庫県内でもいると信じ、今年は必ず見つけたいと思っている。

最後に香川県のキバナガミズギワゴミムシ標本を見せていただいた藤本博文さんと日ごろよりお世話になっている河上康子さんにお礼申し上げます。

(INAHATA NORIAKI 神戸市灘区八幡町1丁目2-54)

「兵庫県で採集した甲虫数種の記録 (内藤,2000)」の訂正 内藤 隆夫

「兵庫県で採集した甲虫数種の記録(内藤,2000)」の内容に関して訂正すべき点があったので、下記のように訂正するとともに、ご迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げます。なお、他県における追加記録などについては、ここでは取り上げないことにさせていただきます。

1. 高橋(1997)によってチャグロマグソコガネ *Aphodius isaburoi* Nakane を兵庫県下未記録としたが、芦屋市における記録(巽,1995)を見落としていた。
2. オオマルスナゴミムシダマシ *Phelopatrum scaphoides* (Marseul) の原記載以降の兵庫県下の記録がないとした(高橋,1989)が、淡路島からは記録されていた(高橋,1984)。

<参考文献>

- 内藤隆夫(2000) 兵庫県で採集した甲虫数種の記録
きべりはむし28(1):54-55.
高橋寿郎(1984) 淡路島より新たに記録された甲虫
について PARNASSIUS(30):1-7.
(1989) 兵庫県のゴミムシダマシ(2) 兵
庫生物9(5):292-294.
巽 和政(1995) 兵庫県芦屋市にてチャグロマグソ
コガネを採集 LAMELLICORNIA(10):15.

(NAITO TAKAO 寝屋川市池田3-4-13)